**北大生協2021年度第７回定例理事会　発言録**

1　日時　2021年12月15日（水）　18:15～20:17

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

井崎貴皓理事（自宅、北海道札幌市北区）

伊藤美香理事（自宅、北海道札幌市清田区）

今村央理事（自宅、北海道函館市）

原拓也理事（北海道大学内、研究室）

吉川牧瀬理事（自宅、北海道札幌市北区）

吉田薫穂理事（自宅、北海道札幌市北区）

奥山莉子理事（北大生協会館4階事務室）

3　出席役員

理事総数　　21名中　15名出席

（出席理事）坂爪浩史理事長、小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、伊藤凌常務理事、髙橋廉常務理事、

井崎貴皓常務理事、小松慎太郎常務理事、伊藤美香理事（18:20～）、今村央理事、

原拓也理事、髙木暉馬理事、三澤建成理事、吉川牧瀬理事、奥山莉子理事、吉田薫穂理事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）林忠一常務理事、安藤亮博常務理事、金川眞行理事、小篠隆生理事、笠原敏史理事、

久保淳司理事、

監事総数　　5名中４名出席

（出席監事）芳賀永監事、斎藤環温監事、運天ひなた監事、岡野泰樹監事

 （注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）宮本桜桃監事

（理事会スタッフ）野呂香綸

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤店舗事業部次長、

村田マネージャー、神田マネージャー

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　髙橋常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時15分に理事会規則の規定により、議長に髙橋常務理事を選任した。髙橋常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

議決事項

**第４号議案：電子取引記録帳簿保存規程の策定の件**

（坂爪）27P、28Pの規程案ですが、第８条に「この規程の改廃は専務理事が行う」とあるので、理事会で規程を作成するが、あとは専務理事にお願いするという理解で宜しいでしょうか？

（鏡）はい。もちろん理事会には報告いたします。今後は、報告事項として取り扱う内容になります。

（嶋崎）規程なので、理事会の協議・決裁ではないという意味で、今回も本当は報告事項で良いのですが、最初ですので一旦協議にはさせていただきました。

（鏡）今回資料を付けていないのですが、北大生協と北大は不動産の借用契約を毎年12月の時期に契約更新をさせていただいております。今期これにかかわってですが、財務部・施設運用管理課のほうから、今回の契約更新にあたって電子署名の「GMOサイン」というところのシステムを使って相互の捺印を処理したいというご提案がございましたので、了承させていただきました。すでにこの間に処理が終わっているというご報告も併せてさせて頂きたいと思います。

**討議事項：第２回監事会における理事会側の経営状況の報告に対する質問へのご回答案にたいする討議**

（鏡）回答案なので、理事会で議論いただいて、次回以降に何度か議論を重ねながら成果物として作っていきたいと考えています。理事会での議論について、監事会からは活発な意見をとご指摘を頂いておりますので、みなさんからのご意見をいただければと思います。議論の時間が無くなってきてはおりますが、活発にご意見いただければなと思います。

（奥山） 一点目なのですが、幹事会への回答の2ページで、まだまだ広く組合員と危機感を共有できる取り組みができていないというところがあったのですが、その中でも特に大学関係者ですね。教職員や学長・学部長等々の偉い方々の理解というのがとても大事になってくるかと思うのですけれど、懇談の中で具体的に何を報告して、どういう結果が得られたのかというのが見えにくいなと思っていて、例えば経営の状況のみを報告して、それについて「大変だね」という話なのか、同情されているような状況なのか。はたまた、学生も食などに困っていたり、家でのオンライン授業等で孤独を抱えていたりすることから「生協としてこんなところをやっていきたいのだけど、赤字が続いているからちょっと厳しい状況なのだ」というところに対して(大学から)「じゃあ学部としてこんなことができるよ」みたいな提案までを頂いているのか、具体的な内容について教えていただけますか？

（小助川）総長・副学長との懇談というのは時間的にも15分程度長くても30分の懇談になりますので、まずは全体の北大生協の概況や供給状況などについて報告をしています。このコロナ禍の関係で（出席人数の制限を支持されているので、学生委員長が出席できず）学生さんや院生さんの活動、共済活動等の報告ができていません。その場で「こういうことで苦しいのだ」ということを話したとしても、結論として「こんなことをやってあげるよ」などの回答が頂けるよう場ではではありません。また、学務部学生支援課の課長さんとの懇談では、中央食堂や北部の施設の問題など、具体的な要望や提案を出すと、これは出来る、出来ないなどと、意見のキャッチボールをさせていただいています。各部局のどのような立場の人と懇談や相談をするかによって違いますが、生協側から様々な提案することによって回答もいただけると言う流れでやっています。

（奥山）ありがとうございます。ぜひ幹事会へ回答されるときには、そのような内容も含めて回答いただけたらなと思います。難しいとは思いますが、総長や副学長と話をする際にもぜひ、北大生協から「こういうことをやって欲しい」という要望も出して欲しいです。

（坂爪）前回の常務理事会の時に言い忘れていたのですが、学生委員会など色々な北大生協の内部組織というものがあると思うので、そういう所でもそれなりに議論をしてもらったらいいのではないかと思っています。

（伊藤）院生理事の伊藤です。常務理事会でもお話した内容になるのですが、組合員と危機感を共有するためにどんな関わり方ができるのか、黒字化を実現化するためにどうしたらいいかという２つのテーマのところで、まず1つ目はやっぱりコロナ禍以前の話からもずっと続いていることなのですけれど、生活協同組合というものが、特に学生にとってはあまり興味のないものみたいなところが、ちょっとあると思います。なので、入学したてでウキウキしているときにそんなクソ真面目な話をするなんて面白くないですし、聞きたくもないと思うのですが、何かしらの組合があるというのは大学に入るにあたって考えて欲しいことの1つとしてアピールできたらいいのかなと思いました。

　道外の人が北海道に引っ越してきて、いろいろ手続きをする中で、組合への加入も全部親がやってくれて、自分は何も知らなかったという人が多いというのがあると思うので、何か学生自身が関わる場所というものができたらなというのがひとつと、理事一人一人が自分事としてどんな関わり方ができるのかというところがひとつです。なかなかこればっかりは口コミみたいなことになっちゃうのかなと思いますが、自分の周りに少し話すぐらいしか思いうかばないところもあるのですが、自分は院生委員会に関わっているのですけど、2月に生協の経営の動画を上げた時にTwitterなどでリツイートするなど、どれほど効果があるか分かりませんけれども、出来る事をするというところです。

　テーマ２に関してお話しした通りで、必要ないから興味がないところが多いのかなと思いました。

購買のものにしろ、外で買えるから、外で食べられるから興味がないのかなと思います。だから、今すぐにとは言いませんが、大学生協にしかできない教科書の購入であったり、いろいろ学校で必要な道具の購入だったりと、そういう事がいくつかあるかと思うので、本当に必要なところだけをとって何か進めていくというのもアリなのかなと思っています。以上です。

（奥山）テーマについてお話しますが、まず組合員と危機感を共有するためにというところで、これは理事の私たちが意識し、組合員に発信する「危機感」とは具体的に「どんな危機なのか」というのが明確にされていったらいいなと思っていて、北大生協の経営が危ないという「危機感」がここに示されていると思うのですけれど、先ほど伊藤理事もおっしゃっていた通り「北大生協が無くなったら困るか？」と友人に聞いても「困る」って答えが返ってくることって無いのですよ。

　というのは、そもそも北大生協が大学の中のどんな組織であるかも知らない人が多いというのが基にあるのです。実際に生協が必要じゃないとかではなく、北大生協が今抱えている危機感がどんな危機感なのか？

　具体的に言えば、北大生協の経営が破綻することによって食堂や購買がなくなったり、それ以外にも新学期とのパソコン販売やお部屋紹介もしてもらえなくなるっていうデメリットがあるということ自体を発信していったり、私達自身が考えていくことが大事なのかなと思っています。それを考えて理事会に参加する事が、理事としてやるべきところなのかなと思ったりしています。一般の組合員に発信するときにも、そこは意識していかないといけないところなのかなと思うので、そこも含めて今後発信を検討されている皆様は考えていただけたらなと思います。

　それとは別に、理事が理事会の中でしか役割を発揮できないというのはおかしいと思っていて、理事が、現場で働いている職員さんと交流する機会を作ったらいいと思います。職員さんと話したりしてみたいという人を集められるような場を作っていけたらいいのかなと考えました。

　二つ目のテーマに行きます。黒字化を実現するためにどのような取り組みが必要と考えるかという所では、北大生協の組合員が生協を必要としているかどうかという話なのですけど、正直、北大の立地的にコンビニに買いに行けばいいし、周りにも沢山お店があるので生協が潰れたところで死ぬほど困る人はいないと思うのです。全く困らないわけではないと思うのですけど、今の北大生協の組合員がどんなことを思っているのかとか、例えば去年で言ったらオンライン授業で孤独な学生が多かったとか、そういうものに合わせた取り組みがされていたらいいなぁというのがあります。それは授業面でもそうですし、学生委員会や院生委員会の活動もそういう取り組みが必要だなと考えているところです。

（小助川）正しく、テーマ１の「危機感」の何が「危機感」なのか？とか、どんな危機につながっていったりしているのか。「伝える中身」や報告がちゃんと伝わるようにしたほうが良いと今回原幹事長議長から言われているところなので、同じ話をされているなと。それをどうやって盛り込んでいくかを考えなければならないなと思って聞いていました。

（芳賀）この後の進め方についてお聞きしたいのですけれども、先ほど鏡さんから、この後まだ継続で理事会の方で議論したものを最終的には文章のような形で幹事会のほうに回答していただけるというような、そんな流れになるのでしょうか？

（鏡）今日の議論が充分ではないと思っておりまして、今後の流れをいいますと、来月1月に常務会理事会がありますので、そちらで再度議論をかけ、最終的には２月位に成果物を作成しようと思っておりました。

（芳賀）私個人としてはかなり重要な問題だと思うので、スピード感があったほうがいいのかなと思っております。例えば、中間報告という形で一度簡単なレポートというか…最終報告でなくても構いませんので、レポートを監事会に出していただいて、それを監事会で検討する形で、キャッチボールしながら練り上げていった方が良いと思います。成果物を作るのが目的ではなくて、色々な課題をどうやって解決して行くか、それぞれの会議体で知恵を絞りましょうというのが一番の目的だと思うので。１月の年明け位のどこかのタイミングで、一度幹事会に中間報告を頂けると少し早くなるような気がしております。本日は他の監事の方も出席されているのでしょうか？私が勝手に決めてしまいましたけれども、そんな形で進めさせていただければと思います。

（岡野）今の芳賀先生からのお話もあったことに異存はございませんので宜しくお願いします。

（鏡）それでは、理事の皆さんからは来週ぐらいまでに一旦意見集約させていただきます。先ほど理事長からもお話がありましたが、学生・院生・教職員委員会でもご議論頂き、その意見も集めて頂きたいなと思いますので、各組織委員会にも投げかけていきたいなと思っております

（芳賀）これは幹事としてではなくて、どういう立場で言えばいいのかわからないのですが、一組合員として、理事会のメンバーとしてなんですけれども。先ほど奥山理事から「生協がなくなっちゃうよ、と友人に話したところ特に困らないような返事があった」という話をされていて、多分学生さん同士の話と、私の意識とはちょっと違うのかなと思うところがありました。

というのは、私の周りの同僚職員や教員たちに機会を見つけては「生協の赤字が凄くて、このままだと債務超過になるかもしれないのだよね」という話をすると、皆さん必ずぎょっとするのですよね。驚いて「それはまずい」と。そうなったら困るよねと言う話になり、「それじゃあ、何かを発注するときは生協に頼んだほうがいいのかな？」とか、「いつも外の出入りの業者さんに頼んでいるのだけれども、生協のほうに頼んだほうがいいのかな？」という話に展開していったりします。それで思ったのですけども、これはひょっとしたら、意識調査アンケートみたいな形でアンケートをしつつ、これは生協をもっと利用しなきゃならないなという方向に意識を変えさせることができるのかなと、ちょっと思ったりしたのです。

　いろんな形で危機感を発信して頂いているというのは非常によく理解できたのですが、どれくらい伝わっているのかというところを少しモニターしたいなと思ったのですよね。それで皆様の許可をいただけるのであれば、私が所属する生命科学院でアンケートのような形で「(生協の)経営が厳しい状況知っていますか？」とか「外売から注文すると生協にとって非常にありがたいです」みたいな事を匂わせつつ…。あんまり書くと多分諸々まずいのかもしれないのですけど(笑)

いい感じでアンケートをして、一体どれぐらい皆さんが共有意識を共有されているのかを実数を見ながら議論するのもいいのかなと思ったのですが、いかがでしょう？

（小助川）今回薬学部で学生教職員の福利厚生への期待について知ることを目的としたアンケートを実施したところ、回答率も高く、学生が生協に対してどういう意識を持ってくれているのかと言うこともわかったので、コロナ禍ではありますがもう一回分踏ん張って継続しようということになりました。学部長や事務長からも「校費は生協に」というような、具体的な協力に繋がっておりますので、芳賀先生がおっしゃったように、アンケートをしていただいて結果を知りたいと思いますので、その方向を検討して頂けたらなと思いました。

（坂爪）先端生命科学院でアンケートを是非していただいて、それを披露していただきたい。場合によってはそれを全学に拡大するという事やっていいと思うので、思い立ったら吉日です。まずやってみて頂くというのはとても良いことだと思います。是非よろしくお願いします。

（芳賀）ありがとうございます。理事会の皆様から特に反対がなければ、一組合員、一役員としてアンケートをやってみたいと思います。結果が出たら、理事会のほうにフィードバックさせてください。

（坂爪）もう一つ発言があるのですけれど、58、59ページに回答案の原案を作っていただいたと思うんですけれど、常務理事会が先週あったと思うのですが、これって修正はされていますか？

（鏡）時間がなくて、まだしていないです。その代わりに「こういう議論がありましたよ」というのを40Pに載せております。

（坂爪）常に変えていくというのが大事なので、常務理事の誰かが修正するのは全然ありだと思いますので、コロコロ変えていかないとダメだと思います。

**報告事項５　新学期事業報告**

（坂爪）２つあるのですが、まず、パソコンが大学推奨スペックだというご説明だったのですが、これはパンフレットとかにでかでかと載せたほうがいいと思います。そうすると、他の家電量販店などでそういうのが書いていないと「ひょっとしたら北大生協で売っている物だけがクリアしているのではなかろうか」という。書いちゃダメだって事はないと思うので、北大の要求している水準をちゃんとクリアしているというのは結構でかく書いてもいいのかなと思いました。

もう一つは101pです。早期の割引でこの在庫処分をするといっているが、早期の時に30,000円引きと言うのは？

（鏡）10月から、お部屋を仮予約で登録している方がすでに300名いらっしゃいます、その方々が2月に部屋の予約を確定させますので、そのタイミングで割引券付きのチラシを送って、パソコンの仮予約をしてくださいと案内する予定です。この時点で仮予約をすると、30,000円分の電子マネーが貰えるので教科書もそれで買えるよ。みたいなことで訴えようと考えています。

（坂爪）臨機応変にやってもらっていいのですけど、PCの仮予約でそれを買ったときに、30,000円分がポイントバックされるという事ですね。

（鏡）現金で還元すると資金が流れてしまうので、内部で教科書などを電子マネーで買っていただければまた戻ってくるのでということです。

（坂爪）いいと思います。

（奥山）昨年は21新学期全体でパソコンはどれぐらい売れていたのですか？

（鏡）500台位です。

本日のwebテレビ会議システムを用いた理事会は、終始異常なく全ての議事が終了したので、議長は20時17分に終了を宣した。

上記議事の経過要領及び結果を証するため本議事録を作成し、出席役員は署名又は記名押印した。